

新水道ビジョン推進のための 地域懇談会（北海道地域）

グループディスカッションの 進め方について

地域懇談会のコンセプト

- 多くの関係者に参集いただき、様々な**情報共有**を図る。
- 取り組み事例ごとに、詳細な**意見交換**ができる時間を設け、議論を深める。
- 各地の先進的取り組みについて、情報伝達も行う（優良事例の情報リレーでバトンをつなぐ）。

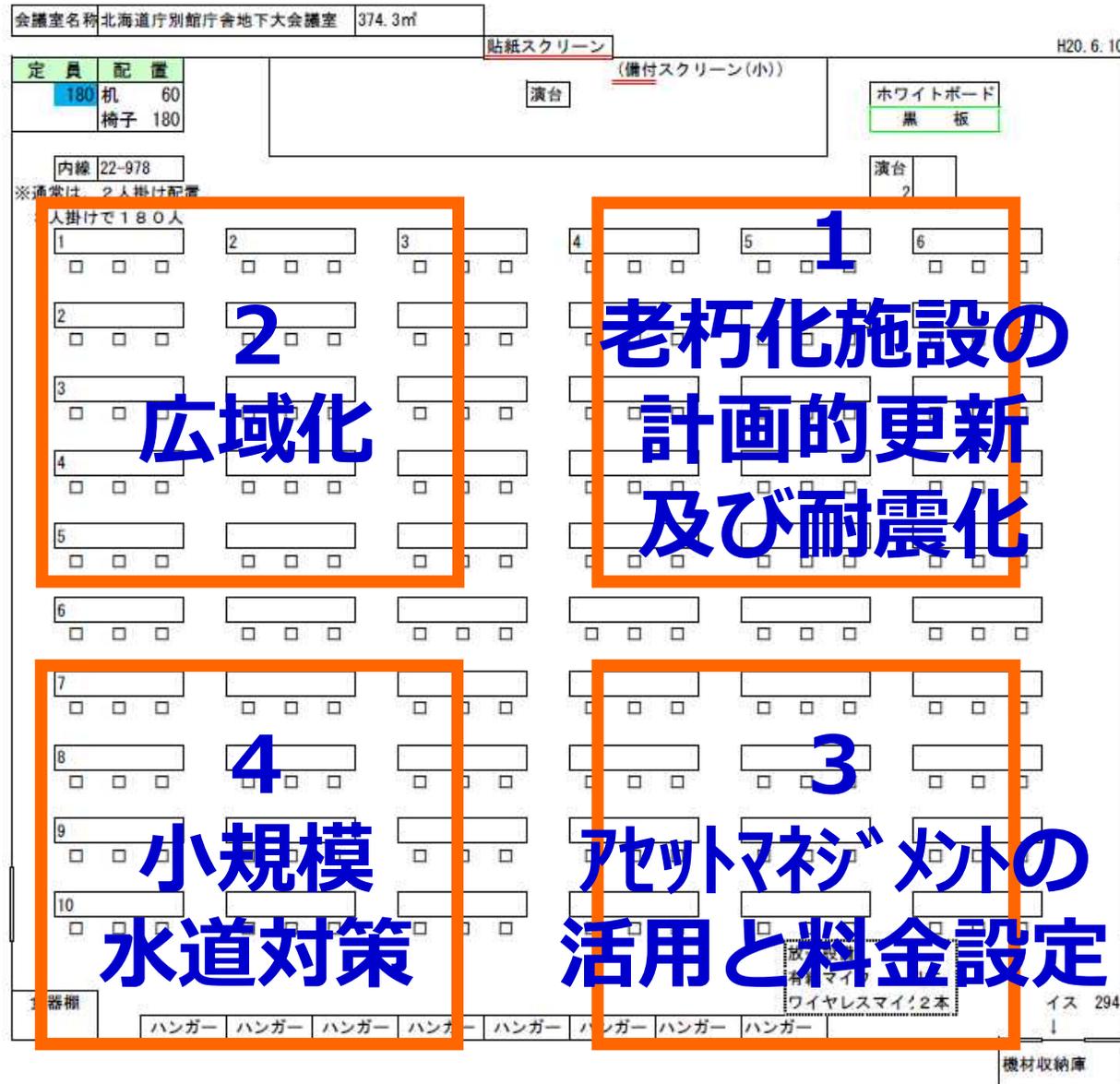
グループ分けと概略の手順

- グループ分けは、**名簿**をご覧ください。
- **同じ所属の中でグループを交代**していただくことはかまいません。
- **休憩（15分）**のあと、後半の再開時は、**各グループのテーブル**にお集まり下さい。
- お手荷物は、各自でお持ち下さい。
- ディスカッション（約1時間15分）の終了後、この会場にて、**ファシリテーターによる概要報告**を行います。

グループ分けと会場について

| No | タイトル | 会場 | ファシリテーター |
|----|------------------------|------|-------------|
| 1 | 老朽化施設の計画的更新及び耐震化について | 前方右側 | 厚生労働省 田中 |
| 2 | 広域化の推進について | 前方左側 | 日水コン 大澤 |
| 3 | アセットマネジメントの活用と料金設定について | 後方右側 | 厚生労働省 吉田 |
| 4 | 小規模水道対策について | 後方左側 | 日水コン 榊原 |

会場の見取り図



ディスカッションの進め方

- 自己紹介（業務・専門分野等簡潔に紹介願います。）（10分）
- グループのテーマを中心として、日頃からお持ちの問題認識を念頭に意見交換等（55分）
- 議論のまとめ（10分）
- ディスカッション終了後、再びこの会場に参集し、ファシリテーターによる概要報告（3分程度）※を行います。

留意事項

ワークショップ10カ条

- ① 聖域をつくらない
- ② 縄張り意識を持たない
- ③ 相手を非難しない
- ④ 肩書きや立場を忘れる
- ⑤ 愚痴や文句を言わない
- ⑥ 人の話をよく聴く
- ⑦ 最後まであきらめない
- ⑧ 思い込みを捨てる
- ⑨ 強がりと言わない
- ⑩ 楽しく議論する

出典：組織を動かすファシリテーションの技術：「社員の意識」を変える協働促進マネジメント（堀公俊）

- ご発言内容は集約して匿名で議事録を作成し、厚生労働省HPに掲載いたします。
- 今後の参考とするため、後日、アンケート調査を行います。

過去のグループディスカッションの様子



休憩に入ります

**これから 15 分間の休憩と
いたします。**

**15時00分になりましたら、
各グループのテーブルにお集
まり下さい。**